

○新学年の始業 授業は例に依り来る十一日より開始すへし

○入学試験及び編入試験 大学本科への入学試験は来る七日及十六日の両度各科二年級以上の編入試験は来る九日を始めとして当分毎土曜日に専門部の入学試験隨時挙行する筈なり

○補欠試験及び在外員試験 事故に因り学年試験を受くる能はさりし者の為め行ふ補欠試験は本月中旬を以て挙行し又在外員の学年試験は例年の通来る十月中旬より挙行の筈なるか在外員の卒業及び在外員より校内生に転学希望者近年著しく増加したれば本年も亦多数の受験者あるへし

○法科 英法科に於ては新学年より大に其刷新を行ひ『法学の進歩は駿駿底止する所を知らす故に之を授くるや亦務めて斬新なる理論を採取すべきは勿論なれとも徒に理論の末節に拘拘として実用の大本を閑却するは現今我法学界に於ける通弊なり』

我国の法制を論するに當ては其母法たる獨国の法理研究を等閑に付すへからざること言を俟たすと雖も由來實地應用の妙を極むるは英國法にして此長所を学得せしめんことを期するは實に吾建学の主旨たり爾來二十有六年其間業を卒へたる者既に六千に垂んとし各々社會の諸方面に活動して知名の士指を屈するに違あらず我學風の如何に付きては世上既に定評の存するあり本大學は自今以後十分此点に留意し学生をして益々實地應用の神髓を得せしむるに力め以て活世界に活動する所の活人物を養成せんことを期すとの旨趣を公表して今や各饗孰れも英國法を教へざるものなきも英國法と之を併課するか故に勢ひ少數の時間を以て最も學習に困難なる同法を授けざるを得ず從て其学

中央大学記事 (新学年の始業・入学試験及び編入試験・  
補欠試験及び在外員試験・法科・経済科・商科・図書館  
公開・第二十六回卒業証書授与式・学年試験問題)  
〔『法学新報』第21巻8(24)号 明治44年9月1日〕

新学年に於ける学科担任講師は左の如し

科組織に付き熟慮を要すると同時に英國法に精通せる講師其人  
を得れるべからずとなし新学年よりは土方、松波、山田、池田、  
[ ]上の諸講師に嘱託し左の教科書に依りて英國法の大体を授け  
其足らぬ所は之を講義に補ひ尚ほ一一我国法と対照して論評  
すべく」

(1) 第一年

Terry's Common Law.

Raleigh's Law of Property.

(1) 第一年

Anson's Law Contracts,

Bigelow's Law of Torts.

(1) 第一年

Rigellow's Elements of Equity.

Chalmers' Sale of Goods Act.

Pollock's Partnership Act,

Pitman's Company Law

Chalmer's Bills & Note.

L. Duckworth's Marine Insurance.

又法科の授業は從来午前より開始したるか故に業務の余暇を以  
て斯学を研究せんと欲する者に便ならずれは新学年より同一講  
座を複数し夜間授業を特設して別に毎日午後五時より授業を開  
始する筈なれば法科学生は自己の都合に依り昼夜何れにても隨  
意に選択修習すべしを得べし而して授業科目其他一切の学則  
は昼夜共に差異なし

憲 法 [法学博士 上杉 慎吉]  
刑法 [法学士 立花 俊吉] 行政法 [法学博士 上杉 慎吉]

民法總論 [法学博士 仁井益太郎 (仁井田)]  
物權法 [法学博士 富井 大場 茂馬] 債權法 [法学博士 岡松参太郎]  
[法学士 西川 一男] [法学士 村上 恭一]

親族法及相続法 [法学博士 奥田 義人]  
[法学士 牧野菊之助] 商業法及商行為 [法学博士 松本 稔治]

会社法 [法学博士 岡野敬次郎] 手形法 [法学博士 岡野敬次郎]  
海商法 [法学士 市村 富久] 保険法 [法学士 青山 衆司]  
[法学士 岩田 一郎]

刑事訴訟法 [法学士 谷野 格] 民事訴訟法 [法学士 前田直之助]  
[法学士 中込 宗造] [法学士 前田直之助]

破産法 [法学士 前田直之助] 國際公法 [法学博士 中村 進午]

國際私法 [法学博士 山田 三良] 経済学 [法学博士 金井 延]

[法学士 池田寅一郎] 岡田 実麿

法学士 山田喜之助

法学博士 松波仁一郎  
法学士 二上 兵次  
米国博學 ドクトル 浅田 栄次  
清水泰次郎

法学博士 土方 寧

憲法及行政法 法学博士 上杉 慎吉 国際法  
法学博士 山田 三良

法学博士 中村 進午

独逸法学  
法学士 大場 茂馬  
法学士 渡辺 豊次

岡田 実麿  
中島 信虎

法学士 関場 偵次  
法学士 木村 進

米國博言學 浅田 栄次  
法学士 三浦 恵一

○經濟科 經濟科は從來頗る商科に近似したるを以て新に政治  
学、政治史、外交史、社会学等を加へて学科組織を一変し就学

者をして一般經濟上及政治上の知識を学得せしめんことを期し  
たり而して新学年に於ける学科担任講師は左の如し

經濟学 法学博士 金井 延 貨幣論 法学士 杉 程次郎

農業政策 法学士 柳田 德三 交通政策 商学士 堀 光亀

信用並銀行論 商学士 内藤 章 商業政策 法学博士 関 一

殖民政策 法学博士 河津 邇 社會及工業政策 法学博士 桑田 熊藏

政治学 未定 社会学 文学士 滝村 斐男

憲法及經濟史 法学博士 福田 德三 稲田周之助

財政学 法学士 馬場 錠一 統計学 法学士 三浦 恵一

會計及計算学 法学博士 仁井田益太郎 星野 太郎

鹿野清次郎 憲法理及貨物論 星野 太郎

理学士 奈佐 忠行

法学博士 西川 一男 法学士 市村 富久

法学博士 富井 政章 法学士 松本 稲治

法学博士 橫田 秀雄 法学士 内藤 章

法学士 村上 恭一 法学士 青山 衆司

憲法及行政法 法学博士 上杉 慎吉 国際法  
法学博士 山田 三良

法学博士 中村 進午

岡田 実麿  
中島 信虎

法学士 大場 茂馬  
法学士 渡辺 豊次

米國博言學 浅田 栄次  
法学士 三浦 恵一

法学士 関場 偵次  
法学士 木村 進

米國博言學 浅田 栄次  
法学士 三浦 恵一

○商科 商科は歐米最新の制度を參照して関博士の立案せられ

たるものに係り学科組織授業方法及時間等主ら実用を旨とし創  
設以来三星霜を経本学年を以て漸く完成を見るに至り益其特長  
を發揮し殊に實習及び実踐は内外實際の商況に精通せる諸名士  
に之を嘱託したり而して各科担任講師は左の如し

石川 文吾

理学士 伊藤万太郎  
商業実務

理学士 伊藤万太郎  
商工經營論及  
内外商業事情

理学士 伊藤万太郎  
商工經營論及  
内外商業事情

理学士 伊藤万太郎  
商品學及  
商業地理

## 筆記及会計学

鹿野清次郎

商学士 茂木 英雄 演 習 法学博士 関 一

経済学 法学博士 金井 延 財政学 法学士 馬場 錠一

商業政策 法学博士 関 一 農業政策 法学士 柳田 国男

社会及 工業政策 法学博士 桑田 熊蔵 殖民政策 法学博士 河津 遵

法学博士 関 一 法学博士 伊藤 悅治

統計学 法学士 三浦 恵一 民 法 法学士 伊藤 悅治

法学博士 岡野敬次郎

商 法 法学博士 松本 稔治 國際法学 法学博士 中村 進午

法学士 市村 富久

石川 文吾 長谷川方文

松浦 和平 英 諸(語)

工業通論 ニコラス・アーネスト・ルース

岡田 実麿 片山 寛

○図書館公開 本大学図書館は創立当時の設置に係り内外の書籍数万部を備へ殊に英國法律書に至ては帝国大学図書館に比して遜色なきの称ある所なるか今回亦新に学員諸氏の寄贈に成る

奥田文庫の蔵書を加へたれば一般図書館に所蔵せらるる書籍は悉く備はり参考書に於て遺憾なかるべく又本大学講師にして元

帝国図書館司書長たり且現に日比谷図書館長として令名ある文學士渡辺又次郎氏本学図書館長に就任せられたるを以て自今熟練なる氏の監督の下に各般の設備完成し来る十一日より図書館

を公開する筈なり

○第二十六回卒業証書授与式 中央大学に於ては去る七月六日午後二時より新築の大講堂に於て第二十六回卒業証書授与式を挙行せり定刻席定まるや理事伊藤悌治氏は立て学事の報告を為し夫れより学長菊池武夫氏はそれぞれ卒業証書及び褒賞を授与したて前記論説欄の訓示を為し之に対して法科卒業生総代柳沢仲衛、経済科卒業生総代五賀他石、清国留学生総代戴修瓊三氏は交々立て左の答辞を朗読せり

## 答 辞

吾中央大学ハ茲ニ生等ノ為メニ第二十六回卒業証書授与ノ盛典ヲ挙ケラレ且ツ朝野貴顯ノ賛臨ヲ辱ウス光榮何ソ之ニ加ヘン顧フニ生等ハ本校ニ入リテヨリ朝夕講師諸先生ノ懇切ナル指導ヲ蒙ムリ今又学長閣下ノ訓示ニ接シ感激措ク所ヲ知ラス今ヤ生等ハ校門ヲ出テ社会ノ激浪ニ向テ掉サムトス此時ニ際シ実ニ両親ノ膝下ヲ辞シ郷閭ヲ去ルノ思アリ従テ聊カ期スル所ナクシテ可ナラムヤ夫レ世運ノ進歩ハ駿駿トシテ已ム所ヲ知ラス生存ノ競争ハ日ニ激烈ヲ加ヘムトス吾帝国ノ前途ハ決シテ容易ニアラス世ノ人材ヲ待ツ蓋シ此時ヨリ甚シキコトナシ生等資性剪劣何ソ以テ國家ノ進運ニ貢献スルニ足ラム然リト雖モ生等ハ質実剛健ナル吾校風ノ下ニ業ニ已ニ高等ノ教育ヲ受ケタリ自今以往諸先輩ノ驥尾ニ附シ奮勉努力勇往邁進國家ノ為ニ涓埃ノ微衷ヲ致シ以テ本学出身タルノ名譽ヲ失墜セサラムコトヲ期ス是レ生等ノ志ナリ

茲ニ一同ニ代リ數言ヲ述ヘテ答辭ト為ス

明治十四年七月六日 締111回卒業生総代 榎沢仲海  
I deem it a great honour to speak a few words representing  
the graduates on this important occasion.

We have just completed the prescribed course of studies in  
this institution and our final examinations being over, we now  
have the honour of receiving diplomas in the presence of the  
<sup>(1)</sup>distinguished guests.

For all the instruction and guidance which have been given  
us by our respected director and professors we hereby  
express our heartfelt thanks.

Our College is already in its twenty-sixth year — it is no more  
a child, but a promising youth. We have seen the high reputa-  
tion which it enjoys, and are consciens of the heavy responsi-  
bilities which now devolve upon us.

We must maintain its reputation and prove worthy of the  
honour of being graduates of this school.

Beeing as get inexperienced we hardly know how to do it,  
all we can say is that, we are resolved to do the best we can; we  
will act faithfully and sincerely, and will try all we can to pro-  
mote the welfare of our Country.

In the name of my followgraduates, I once more express our  
deep gratitude.

Taseki, Gocca.

明治十四年七月六日本大學生締111回卒業證書

行セラルルニ当リ内外貴賓ノ賛臨ヲ辱ウス生等其盛式ニ列シ  
卒業ノ光榮ヲ得欣喜何ソ之ニ勝フルモノアラン回顧スレハ生  
等ノ笈ヲ負フテ東渡シ本大學ニ業ヲ受クル茲ニ幾星霜今ヤ業  
成リ茫トシテ夢ノ如シ学海ハ宏遠トシテ真理ハ奥邃タリ初學  
動スモレハ望洋ノ嘆ナキ能ハス生等學長閣下ノ指導ト各賢師  
ノ誘掖ヲ蒙リ幸ニ法律經濟全科ノ研究ヲ遂クルヲ得テ今日卒  
業証書ヲ授与セラレ加之學長閣下ノ懇篤ナル訓諭ヲ賜ハル生  
等感謝ノ詞楮墨ヲ以テ宣シ難シ惟フニ貴國ト敝國トハ歴史上  
地理上種族文字上ノ関係甚タ緊密ニシテ又邇來ノ邦交ハ日ニ  
益親睦ナリ故ニ敝國近年ノ改革施設ハ貴國ニ倣フ所頗ル多シ  
生等ハ今ヨリ帰國シ各其學習スル所ニ従ヒ極力以テ國勢ノ發  
展ト東亞ノ和平トテ國ウント欲ス乃チ生等留学ノ素志ニシテ  
亦今後ノ責任タリ若シ幸ニ其万分ヲ達スルヲ得ハ偏ニ學長閣  
下及ヒ各賢師ノ賜タリ是レ生等ノ常ニ繫念シテ敢テ忘レサル  
所以也謹テ謙詞ヲ以テ答辭ト為ス

中央大学学長 菊池武夫殿閣下

清國留学生卒業生総代 戴修瓊

明治十四年七月六日

右トヘ來賓同法大臣子爵岡部長職閣下は左の祝辭を朗讀せられ  
越ニ中央大學第一十六回生徒卒業式ニ際シ其請ニ応シ一言ス  
ルハ余ノ光榮トスル所ナリ  
聞ク本學在籍生徒一千四百五十八人今次卒業ノ者實ニ七十一  
人又從來既ニ卒業セルモノニシテ朝野各種ノ職ニ從事シツツ  
アルモノニ十二回四十余人ナリト何ソ其レ旺ナルヤ意フニ其

ノ実績ノ斯ノ如ク顯著ナルハ則チ本学ノ校規整然教授懇切名望中外ニ普キコト復タ絮説ヲ贅セスシテ知ル可キナリ抑モ学ノ已ム可カラサルハ社会進運ノ已ム可カラサルニ伴フモノニシテ之レアレハ則チ人榮工國興リ之レ無ケレハ則チ国振ハス民萎ス今次卒業ノ諸子ハ此ノ国運隆昌ノ時ニ方リ其學業ヲ卒ヘ多望ナル前途ニ進マントス何ソ其レ幸福ナルヤ是レ余カ卒業諸子ノ為メニ特ニ祝スル所ナリ然レトモ學術ハ均シク之レヲ修了ス可ク活地應用ノ妙悟ハ処世建勲ノ機微ト共ニ未タ必シモ一律ニ擬ス可カラス宜シク諸子九思ノ余ニ須ツ可キナリ因テ聊カ規ヲ頌ニ寓スルコト個ノコトシ之レヲ祝辭ト為ス

明治四十四年七月六日

司法大臣 子爵 岡部長職

次に講師法学博士原嘉道氏は左の演説を為し

諸君本大学の二十六回の卒業式に際しまして講師として祝辞を述べますのは私に取りまして甚だ光栄と存ずる所であります、今日の卒業式を祝しますに当たりましては三つの方面があらうと思ひます、即ち一は国家の方面から見ての祝辞であります、我国は維新以来長足の進歩をしたと云ふことは世界各国に認められて居りますが、憲政施行後既に二十有余年を経過して居りますが、之を歐米の先進諸国に比較して見ますと云ふとまだまだナカナカ安心すべき時期には達して居らぬ、少くとも物質方面的の進歩発達の点に至りますと云ふと未だ少しく恥かしい感があります、又今日多数の卒業生を出して居りますところの我友邦たる清國の現状を見

ますと云ふと此數千年文化の中心でありました帝国に於ても今日の現状から見ますと云ふとまだまだナカナカ以て歐米諸国に比肩して其文明を誇るの時にはなつて居らぬのであります、斯の如く我国と申しまして又清國と申しまして共に欧米先進諸国に比しますると一層青年有為の士の活動を要する時期であります、此時期に際しまして今日新に七十有余名の高等教育を受けられた諸君を社会に出した、今後の發達に貢献せらるる人を得たと云ふことは國家の目から見まして大に祝さなければならぬことであると考へます、次に此中大大学の立場から見ますと開校以来多年の間に先程報告がありました通り五千有余の卒業生を出して居ります、社会の各方面に随分活動して居りますが、今日は更に是れに加へますに七十有余の卒業生を以てし而も其卒業生たるや日清両国に跨がりまして此両国の将来の發達の為に大に活動せらることであると云ふことを考へますと本大学が是等の諸君を社会に送り出したと云ふ点に付いて又大に祝さなければならぬ、更に今日卒業証書を受けられた諸君の方面から見ますと諸君が小学に入られましてから今日に至る迄恐らくは皆二十有余年を経過して居らるるであらうと思ふ、此間諸君が目標として進んで来られたところのものは何であるかと云ふと即ち今日の卒業式である、諸君が小学に入られた以來常にいろいろの自分の学科を修めて余り感服しない講義も謹聽せられそうして此二十余年を闊つて来られたと云ふことは詰り結局の所大学を卒業して卒業証書を受取つて社会に乗

出さうと云ふ目的に外ならなかつたのであらうと思ふ、又諸君の父兄が諸君を助けて二十余年の間多額の費用を費されて随分自分の都合から考へたならば苦しい場合があつたに拘らず諸君をして尚今日迄学業を継続し来つたと云ふのも又偏に此為めであつたと思ひます、然るに此二十余年間苦心慘澹として志して居られたことが茲に成つて諸君が芽出度く卒業証書を握つて社会に乗出さるのでありますから此点から見まして諸君に対して大に祝意を表さなければならぬ次第であります、斯の如く今日の卒業式は国家と云ふ大きな目から見まして又此大学と云ふ目から見ましても又卒業証書を受けられました諸君自身から見ましても何れの点から見ても大に祝すべきことであるのでありますから私は此所に立て大に祝意を表すべきであります、併ながら御芽出度いことであるに違ひありませんが、世の中には兎角御芽出度いと云ふことの裏には又余り芽出度ないことも附いて居る、世界各国に共通して御芽出度い期節となつて居る正月でさへ古人は是は芽出度くあり芽出度くもなしと称したと云ふことでありますが、此御芽出度いことを以て満ちて居る卒業式と云ふことも矢張新年と同じやうに御芽出度からぬ方面を同時に持つて居る、是はどう云ふことかと云ふと既に本日の卒業式でも分つて居りますが、先程菊池学長は是から諸君は紳士である、諸君は学者である、此紳士たり学者たる心持を以て此体面を維持しなければならぬぞと云ふことを言はれましたが此所が即ち諸君に取つて甚だ御氣の毒ながら御芽出度からぬ方面にな

ります、今日迄は学生と云ふ肩書は即ち終局の目的が卒業証書を得ることにあるのでありますから諸君は勿論諸君の父兄たる者は此卒業証書を得せしむる迄と云ふことを目當にして諸君に對しても学資も供給すれば他の事に使はず専ら学業を励ました、他人迄も諸君が学生であると云ふことに対する大に敬意を表し諸君の目的を達せしむる便宜を与へて居ることは明かなことであると思ひます、今日迄の諸君は年齢の上には未成年に違ひありませんが社会の上から未成年者であります、此未成年者の保育のために諸君の父兄を初め總ての周囲の人と云ふものは全力を挙げて努めて居つて呉れたのである、然るに今日限り諸君は未成年者の境遇を脱して成年者の時期に這入つたのであります、而して是から艱難を経験せられなければならぬ次第であります、其の艱難をせられなければならぬ門出に於て私は贔として卒業式の祝辞に次いで一言申し上げて置きたいと思ひます、其事は別に珍らしいことではない、先年の卒業式に於て菊池学長から私の言ふ所と言葉が違ふであります、別に誰が言つても珍しいことはない極めて普通のことであります、さて之を世の中へ出て服膺し実行すると云ふことは余程困難なことであつてそれを終始実行するものが甚だ乏しいかの感がありますから諸君の贔として一言言ふて置きたい、それは何であるかと云ふとは是からして諸君

が世の中へ出られてからいろいろな職業に従事されるであります。が、私が其場合に諸君に向て服膺実行を望みたいことが一つあります、それは何であるかと云ふと各自の職務に忠実なれど云ふことあります、何故に斯くの如きことを態度諸君に注文するのかと云ふと、私の見る所では今日の社会に於て——と云ふと古い時はさうでなかつたと聞えるが私の意味はさうでない、古いことはどうであるか知らぬ古い時は別であると云ふ意味であるが、兎に角今日社会の実況を見ると職務に忠実であると云ふことが多くの人に欠けて居ると云ふ感がある、是は今日此所に列席して居るやうな諸君にはないが、先づ学生の身分などに付いて考へて見る、学生である以上は学校の事と云ふものは總て眞面目に勉強する、一から十迄眞面目に勉強する、卒業する迄終始しなければならぬと云ふことは誰も知つて居ることであります、然るに学生の多く人は此一から十迄眞面目に勉強すると云ふことをせずして或る科目は好きだからやる或る科目は余り氣に入らぬから碌に調べぬ、或はあの先生は点は辛いから調べる、此人は点が甘いから調べぬで宜い、甚しきに至つては平生勉強せぬで試験になつてから受持教師の出しさうなものを拾読みをして試験を受ける人がある、斯う云ふやうなやり方をする、学校の課程は黄金時代であります、こんなことをして居つてもどうやら斯うやら通して居つて卒業迄やる風の人がある、併ながら是から後諸君が社会に出てから今申したやうな学生時代に於けるやうな心得を以て各自の職業に従事すると其結果と云

ふものは卒業証書のやうな名譽な証書を受ける代りに社会に於て遂に社会的死刑の宣告を受けるやうになるのが終りであると云ふことに帰著せねばならぬ、学生時代の黄金時代は左様な誤魔化しをして世の中を送る人でも尚且卒業證書を握る人さへあります、が社会の人となつて社会に於て卒業せんとするには斯う云ふやうな誤魔化しの考では到底卒業して成功することは覚束ないことになります、今日迄此法律学校を卒業した人を見ると無論いろいろの方面に従事して居りますが、判検事弁護士が比較的に多い、然るに判事になり検事になり弁護士になつて居る人が判事になつて居る間は判事と云ふものは自分の職務である、此職務に付いては縦令其位置に不満足であらうが、長官が気に入らうが入るまいがそう云ふことには頓著なくして一意専心に判事の職務を忠実に実行して行かなければならぬことは理窟の上に於ては誰も知つて居る、然るに判事になつて居りながら種種様様な不平を唱へてさうして肝腎の職務の方に付いては一向勉強をして居らぬ、而して單に自分の位地とか俸給とか官等とか云ふやうなことを考へてあの方に行つた方が宜いだらう、どうした方が都合が好いだらうと云ふことだけを考へてさうして判事として尽すべき職務と云ふものをちよつとも忠実に尽して居ることが少ないと云ふ疑があります、検事に於ても亦其通りで検事になりたいと云ふ人が沢山あるが、併し検事になつて見ればさう自分の満足するやうにやつて呉れるものでない、さうすると是に付いても矢張同じことで職務を忠実に執行する

と云ふことは更にない、さうして總て仕事の方は其日限りのやうなやり口をして居りながら盛に自分の地位の上の方法を講ずる、或いは他に口を求める、さう云ふ方ばかり考へて居る人が尠からぬ弁護士にあつても矢張さうであります、自分の方へ来たものは事件の大小となく忠実に之を取扱ひ而して依頼人に迷惑を掛けないやうにすることに全力を注がなければならぬのであるに拘らずそれは粗略にして置いてさうして自分の方に事件が余計に来ないとか何とか考へて様様な運動をして飛んでもない方面に這入ると云ふ人が随分あります、又他の職業に就いて居る人でもどうも自分の現在の職務に忠実であると云ふことよりも如何にせば自分が都合よく行くだろうと云ふことばかり考へて、さうして所謂俗に言ふ奉公人根情、唯現在の所を誤魔化してどうかして旨いことに出会はしたいと云ふやうなことばかり考へて居る人が頗る多数のやうに思はれる、斯の如き心を以て世の中の艱難に処して行きましたならば或は遂に後悔に陥るやうになるかも知れぬのであります、菊池学長も先年此所の卒業式の演説に於て運、根、鈍と云ふことが処世の要點であると云ふことを言はれました今日私の言ふことは亦それに同じことであります、其職務が氣に入らぬならば速<sup>(か)</sup>に之を捨てて去るべし、之を捨てて去りもせずして職務を好い加減にして外に良いことがないかと云ふことを探して居るやり方は其個人から云へば其身を過るものであります、さう云ふ人ばかりが世の中に

多くなつては國家と云ふものは衰亡を來さなければならぬと思ひます、世の中の諺に所謂急かば廻はれと云ふことがあります、私はあなた方にはいろいろあらうと思ひますが、必ずしもどう云ふ廻り方をすれば宜いと云ふのでない、諸君は既に高等の教育を修めて別に今日以後に於て廻り方に付いて苦心する必要はない、自分の為すべき事柄は略方針が立つて居る、其方針に依つて忠実に其職務を執行してさうして所謂天の道を完ふすることが私は最も適當なる諸君の処置であると思ひます、之を為さずして徒らに現在の極極目前の利害のみに齟齬してさうして自己の職務をおろそかにして大道を行かずして小路に依つて成功せんとする者がありましたならば私は是は成功すべき道でなくして却て諸君をして失望に陥らしむる道でらうと思ひます、今日は先程申しました通り最も御芽出度い時期であります、其御芽出度い時期に於ては唯今申上げる如く前途の艱難が伴ふて居りますから、私は多少の社会に於ける先輩たる経験上諸君に向つて此今後の処世術として職務に忠実ならんことを希望して祝辞を述べます

#### 又学員米国法学博士岡田泰藏氏は左の祝辞を述べ

私は学員五千四百名を代表して祝辞を述べることは身に取つて頗る光榮と致します、茲に今回卒業をされました諸君が吾吾學員会中に加入されまして五千四百余名の上に尚ほ一段の光彩を加へられたことを歓迎し大に之を祝することござります先程から菊池学長の懇篤なる告辭を私共は諸君と親しく之を拝聴しました、又原講師の祝辞として教へられた所も

拝聴致しました、自分は喜びの言葉を以て学員に代つて申上げれば事足るのであります、今回卒業された諸君は惟ふにそれそれ今後実際問題に向つて此一堂に集り来つた現状に一つの変化をして各思ふ所に向つて活動を始めらることと存じます、此機会に於て一言或は是は均しく学員一同の意思ではなからうと思ひますが一二の希望を述べて置きたい、学長は諸君及私共に対して總て校を出てて社会に立つ者は紳士でなくてはならぬ、又書生の学歴を茲に終る以上は自から学者として任じなければならぬ、斯様に教へられた、次に原講師は世に立つて吾吾が行動するには其就くところの職務に忠実でなければならぬ、是は吾吾一点の疑なく然りと云ふことを以て服膺することであります、さて之を如何にして吾吾は自己の立場を定め、籍を如何なる点に求めて果して是だけの注文に応じて行くことが出来るかと云ふことに付いて聊か諸君と研究を重ねねばならぬ問題であると思ひます、学校に於て学得を致しましたところの此学識は国家に對しては國家の發達、吾吾個人に取つては個人の立身の基礎になることは全く疑がない、併ながら校に在つて教はりしところの、研究せしところの此知識なるものは未だ確實なる知識と云ふことは出来ぬと云ふことは御同意である、即ち此修得したる知識は吾吾實際問題に遭遇して是に依つて練磨して茲に初めて真正の知識となるのであります、諸君が今後実際問題に遭遇して其間に於てより以上の頭脳の働きを以て苦心慘憺の間に攻究されて経験を積まることと存じます、此場合に於て私共は諸

君と共に吾人の依るべきところの一つのものは何かと云ふことを考へたい、是は即ち学長の言はれたところの紳士なる人格の問題であらうと思ひます、此煩雜なる社会に立つて自己の立身の基礎を固め且つ之を踏み行つて往くところものは即ち人格の外に私はないと思ふ、吾吾は互に此人格の修養と云ふことの重き考を以て社会の誘惑に決して触れず之を排斥して進むところの覚悟がなければならぬ、吾吾が校に在つて教を受けたところの此知識を實際問題に於て試みつつ目的を達するには即ち学長の教の如く紳士たらば能ふべからず、而して其為すことは原講師の言はるる如く其職務に忠実にして誠実なる、即ち徳性の上に重き考を以て人格と相須つて之を為して行くと云ふことに留意しなければならぬと考へましたので一言希望を申しまして諸君の吾吾学員会に加入されましたことを大に喜ぶと同時に御祝ひを申上げて将来の御健全を切に望む次第であります

熟れも拍手の間に終りを告げ式後記念撮影を為し四時食堂を開て宴会に移り数番の演説あり各自十二分の歎を尽し其散会したるは午後五時を過ぐ当日來会者の重なる者は伊藤悌治、乾喜代八、石山彌平、石塚常次郎、岩崎鉄次郎、池田四郎次郎、磯谷幸次郎、磯江潤、ハリス、長谷川喬、花井卓藏、原喜道、新井要太郎、堀田疇治、保坂栄之丞、星野照、十島誠之造、李晚奎、岡部長職、奥田義人、太田資時、大崎熊次、尾崎利中、小川万二郎、岡田泰蔵、渡辺豊治、渡辺澄也、鷺見亀五郎、脇田勇、渡辺又次郎、渡辺熊三郎、笠原文太郎、川久保彌次、河野秀男、

鴨覓太郎、吉田孝、田中阿歌麿、田中隆三、高根義人、田上省  
 三、高津鉢三郎、竹内鑄作、高崎介蔵、高野金重、武田明、田  
 村隆平、辻籌夫、辻本友次郎、中邦元嘉、中山資信、内藤庄吉、  
 難波弁太郎、村山一平、村田祐治、卜部喜太郎、上田成章、桑  
 田熊藏、山本一蔵、山上謙吉、柳沢奎太、八坂貞一郎、柳沢慎  
 之介、山田清一、矢野恒太、やまと新聞社、山田喜之助、丸山  
 恵一、松沢卓規、牧野賤男、松尾參三郎、福岡恕人、古谷伊平、  
 胡之僕、國民新聞社、小山残平、小菅寅吉、遠藤正矩、手島喜  
 智、天野徳也、浅野正太郎、青木昌吉、朝比奈孝一、安藤剛毅、  
 佐藤正之、佐藤惣三郎、佐野善作、菊池武夫、木付綱麿、宮崎  
 三郎、三浦大五郎、三宅碩夫、宮島恒次郎、都新聞社、「ジャ  
 パンタイムス」社、塩谷恒太郎、島野金吾、杉浦重剛、管俟久  
 助、杉本善次郎等の諸氏なりし  
 卒業生姓名左の如し

#### 法律本科

柳沢 仲衛	松保 善助	孫 観圻	麻生 東麓
佐々木祥吉	漆 璞	曹 昌麟	胡 蕙
五賀 他石	戴 修 琚	童 蒙求	余 同信
阮 福 田	聶 熙	蔡 家烈	董 鴻 詩
游 錦 栄	傅 啓 鈞	汪 長 祿	周 汝 翼
廖 希 賢	曾 根 渉		

#### 法律科専門科

寺島 由松 徐 彭齡 本間伊平治 陸 鴻彝

潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

#### 優等者姓名左の如し

#### 法律科専門科三年級

寺島 由松 徐 彭齡 本間伊平治 陸 鴻彝	大久保由五郎 上野善十郎
沢村 直 末永 實藏	向山 六蔵
五賀 他石 戴 修 琚	文 群
経済科本科三年級	雀 洛允
石津 専一 姚 視 昌	蔡 安邦
金 致 鍊 清水哲二郎	
揚 淩 朱沛霖	
伊沢 清 張宗勳	

寺島 由松 徐 彭齡 本間伊平治 陸 鴻彝	大久保由五郎 上野善十郎
沢村 直 末永 實藏	向山 六蔵
五賀 他石 戴 修 琚	文 群
経済科専門科三年級	雀 洛允
石津 専一	蔡 安邦
法律科本科二年級	

植木 寿雄

寺島 由松 徐 彭齡 本間伊平治 陸 鴻彝	大久保由五郎 上野善十郎
沢村 直 末永 實藏	向山 六蔵
五賀 他石 戴 修 琚	文 群
経済科専門科三年級	雀 洛允
石津 専一	蔡 安邦
法律科本科二年級	

法律科専門科二年級

沢村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

王 承 楠 橫田 稔 高夢 熊 饒欽濬

片山伊七郎 渡辺 英三 馬場 省三 劉懋暉

張 鐘 端 藍 鼎 中 周 禮 呂 刘炳暉

歐陽 楠 湖 元 軾

澤村 直 末永 實藏 景山 武夫 潘 昌煦

秋草 愛一 笠谷 四郎 橫田 数喜 小田切義男

大津山定起 大賀 純雄 高木 栄助 福地 賢次

滝沢 信一 武井 定光 高杉 隆治 高 第

大槻 了 花本福次郎

法律科本科一年級

松隈 昌隆

法律科専門科一年級

青木雷三郎 徳永善太郎 青木 真 尾崎 重美

商科本科二年級

梶尾 円平

商科専門科二年級

伊藤 潔

商科専門科一年級

柴田 正

大学予科

高木 克己

○学年試験問題 去る六月十二日より開始同二十四日を以て終了したる明治四十四年度学年試験問題左の如し

法律科第一年級

憲法 (上杉講師出題)

一 臣民トハ何ソヤ

二 貴族院ノ組織ヲ略述スヘシ

刑法総論 (泉二講師出題)

一 狂者ニ対シ緊急防衛ヲ為シ得ルヤ

二 欠効未遂トハ何ソ

民法総論 (仁井田講師出題)

一 無権代理ノ効果ヲ説明スヘシ

二 法律行為ノ無効ト取消トノ差異ヲ説明スヘシ

物權法第一部 (西川講師出題)

一 左ノ意義ヲ解説セヨ

(イ) 設定 (ロ) 讓渡 (ハ) 第三者

二 占有者カ占有物ヨリ生スル果実ヲ取得スル場合ト否ラサル場合トヲ詳説スヘシ

債權總論 (横田講師出題)

一 金錢債務ノ不履行ヨリ生スル損害ノ賠償ヲ論ス

二 連帶債務者ノ一人ニ付テ生シタル事項ハ他ノ債務者ニ対シテ如何ナル効力ヲ生スルヤ

親族法 (奥田講師出題)

一 離婚ノ効果ヲ説明スヘシ

二 姻族關係ハ離婚ニ関スル外如何ナル原因ニ因リテ消滅スルヤ

III 戸主ハ如何ナル場合ニ於テ家族ヲ扶養スル義務ヲ負フヤ  
経済學 (金井講師出題)

一 労働ノ効果ニ影響ヲ及ホス原因如何

二 資本ハ如何ナル方法ニ依リテ増加スルヤ

ナリ一氏法律原論 (山田講師出題) (英法科)

1. Equitable rights ヲ説明スヘシ

2. Hypothecation & Mortgage ヲ説明シ其區別ヲ指摘スヘシ  
独逸經濟問題 (関場講師出題) (独法科)

I 次ノ文章ヲ和訳スヘシ

(a) Friedrich Gist unterschied die volkswirtschaftlichen

Entwicklungsphasen nach dem vorwiegen der Produktionssarten : 1. der jagd und Fischerei, 2. des Nemadentums, 3. des Ackerbaues, 4. des Ackerban = und Industrie betriebes, 5. des Agrar." Industrie = und Handelsbetriebes.

- (b) Nach dem deutschen Gesetze von 1884 miissen sich zur Gründung — einer Aptien gesellschaft mindestens 5 personen unter Uebernahme von mindestens je einer Asktie vereinigen und dem Gesellschaftsvertrag in gerechtlicher oder notarieller Verhandlung festsäellen.

(c) Die menschliche Arbeit ist nach Adam Smith der beste Mass stab (標準) des wertes der Güter.

II 次ノ文章ト記ハ田ヲ簡単リ敷衍スくハ

Das Einkommer eines volkes ist gleich dem Ertrage der volkswirtschaft. Es ist zusammen "gesetzt aus Grund rente, Kapitalrente und Arbeitsrente.

英語 (浅田講師出題) (法律科共通)

Write a Composition of about 200 words on "Friendship"

法律科第一年級

物權法第二部 (富井講師出題)

- 1 質權者ハ質物ノ占有権ヲ有スルニ何故更ニ其留置権ヲ有スルモノシタルヤ  
1 抵当権ノ設定ハ如何ナル部類ノ法律行為ナルヤ  
会社法 (片山講師出題)  
1 人の信用ト物的信用トカ合名会社及株式会社ノ規定ノ差異

II 及ホシタル影響如何

1 左ノ事実ハ法律上有効ナリヤ無効ナリヤ理由ヲ附シテ説明スベシ

- 1 株式会社ノ創立総会ニ於テ新タニ発起人ノ受クヘキ特別利益ニ関スル規定ヲ定款ニ設ケタリ  
1 株式会社ノ株主総会ニ於テ発起人ノ受クヘキ特別利益ニ関スル定款ノ規定ヲ削除シタリ  
1 合名会社ノ定款ニ於テ社員ノ持分ノ譲渡ハ他ノ社員ノ承諾ナクシテ会社ニ对抗スルコトヲ妨ケサル旨ヲ規定シタリ

1 合資会社ノ定款ニ於テ有限責任社員カ無限ニ会社ノ損失ヲ分担シ無限責任社員カ一切損失ヲ分担セサル旨ヲ定メタリ

1 株式会社ノ取締役ハ定款ニ定メタル建設利息ノ利率「年四分」トアリタルヲ年五分ニ変更スルノ議案ヲ株主総会ニ提出シタリ株主総会ハ之ヲ年六分ト修正可決シタリ  
(注意 決議又ハ同意ハ總テ法定ノ要件ヲ充タスモノト仮定スルコト勿論トス)

民事訴訟法第一編 (和田講師出題)

- 1 共同訴訟ノ要件ヲ説明スベシ  
1 弁論主義トハ如何  
刑法各論 (大場講師出題)  
1 傷害罪ノ故意ノ内容ヲ詳論セバ  
1 公務員力私法上ノ関係ニ付キ作成シタル文書ハ之ヲ公文書

(法文ノ所謂公務員ノ作ルヘキ文書) ト謂フヲ得ルヤ

手形法 (岡野講師出題)

一 裏書連続ノ法律上ノ効果如何

二 一覽後定期払ノ為替手形ノ所持人カ其手形ヲ呈示シタル場合

合ニ於テ支払人力カ引受ヲ為サヌ又ハ引受ヲ為シタルモ其日附ヲ記載セサルトキハ所持人ハ如何ニセハ如何ナル権利ヲ

保有スルコトヲ得ルヤ  
商法總則及商行為 (松本講師出題)

一 代理商ト問屋ノ區別

二 物權的有価証券トハ何ソ

刑事訴訟法 (谷野講師出題)

一 第一審ノ審判開始ノ条件ヲ説ケ

二 区裁判所ノ事物管轄ヲ説ケ

國際公法 (中村講師出題)

一 交戦國軍艦カ中立国港湾ニ於テ新ニ搭載シ得ヘキ燃料ノ量

如何

二 通商條約ノ内容ヲ挙ケ之ヲ説明スヘシ

相続法 (島田講師出題)

一 家督相続ト遺産相続トノ差異ヲ説明スヘシ

二 遺言執行人ノ性質ヲ説明スヘシ

債權各論 (村上講師出題)

一 単独行為ヨリ債務ヲ生スルコトアルカ

二 同時履行ノ抗弁ノ適用範囲如何

三 売買ノ代金ノ利息ハ何レノ時期ヨリ之ヲ附スヘキカ

英國手形法 (松波講師出題)

一 Bill of Exchange Act 1882. Section 9 即チ sum payable

二 闇スルモノ及ヒ第48条即チ notice of dishonour 二闇スルモノヲ訳シテ説明スヘシ

英國会社法 (松波講師出題)

一 Pitman's companies and Copamny law' page 85

The capital of a . . . . are synonymous terms マテ即チ Shares ト side note セルモノ及ヒ page 131 In addition to . . . . in the articles マテ即チ general meeting ト side note セルモノヲ訳シテ説明スヘシ

法律科第三年級

國際私法 (山田講師出題)

一 遺言ノ効力ハ何レノ法律ニ依リテ之ヲ定ムヘキカ

二 手形行為ノ効力ハ何レノ法律ニ依リテ之ヲ定ムヘキカ

海商法 (市村講師出題)

一 船主カ免責ノ為メニスル委付ト保険者ニ対シテ為ス委付ト

ヲ比較シテ論セヨ

二 船舶所有者ハ水先人ノ重大ナル過失ニヨツテ積荷ニツキ生

シタル損害ヲ賠償スル責ヲ負ハストノ特約ヲナスヲ得ルヤ

此ノ特約アル場合ニ於ケル船主ノ責任ヲ論セヨ

行政法 (上杉講師出題)

一 市町村ノ住民及公民トハ何ソヤ

二 土地収用ノ性質如何

保險法 (青山講師出題)

- 1 (イ) 保険価格、保険金額の意義
- (ロ) 「利益ナケンハ保険ナハ」トヘ法律格の意義
- 1 保管者カ保管物ノ損失ニ付キ支払フキ損害賠償ノ為メ  
締結シタル保険契約ニ基キ所有者ハ保険者ニ対シ直接損害  
ノ填補ヲ請求シタリ（商法第四百二十一條）然ルニ保険者  
ハ其損害ハ保管者ノ重大ナル過失ニ出テタリハ以テマレ  
カ填補ノ義務ナシト抗弁シタリ（商法第三百九十六條）保  
険者ノ抗弁ハ正当ナルヤ否ヤ理由ヲ附シテ断定ベシ
- 民事訴訟法（第二編乃至第五編）（日本講師出題）
- 1 反訴提起ノ要件ヲ述く

- 1 妨訴ノ抗弁ヲ論セ
- 民事訴訟法第六編（申込講師出題）
- 1 執達吏ノ財産搜索權及ヒ威力使用權ヲ説明スルハ  
1 執行参加ノ訴ノ性質ヲ説明スルハ
- 財政学（馬場講師出題）
- 1 間接税ノ長所及短所ヲ列举セ
- 1 国債ノ買上償還ハ金融ノ調節ノ如何ナル効果アリヤ  
1 予算超過ノ支出及予算外支出ノ意義ヲ明リセ
- ローマハス国際公法（権威出題）
1. It must be clearly understood the consent of States alone can give authority to a rule, and that, unless all or nearly all civilised Powers have signed a document which lays down the rule, the best evidence of their consent is practice. There practice is, as it were, the fitter-bed through which much that

flows from the sources we have mentioned must pass, before it can enter main stream of International Law.

2. Assassination Treachery is the characteristic which distinguishes assassination from the slaughter allowed in warfare. A treacherous attack is forbidden; Pilling in a surprise is awful. Poison. The poisoning of food and water likely to be used by the enemy is unlawful, as is also the use of poisoned weapons.

1. 2 ヲ翻訳スヘシ

A. Define International Law, and discuss the propriety of the name.

B. What is the legal position of the merchant sailors of a belligerent in respect of actual fighting?

C. How should a geneal state govern its conduct with regard to the admission of belligerent warships into its ports and waters, and their subsequent stay therein?

A. B. C. 三問題ニ對シテ答へヨ

スルロード—私犯法（東田講師出題）

1. Explain the following terms? —

a. Duty b. Damages c. Damage d. slander of title e. Malice f. representation g. libel h. sale with all faults i. intention j. innocent misrepresentation

2. Define a deceit and give an example of it
3. Translate the following sentence into Japanese: —
- A. Having knowledge or notice of the existetnce of a contract

between B and C owes the duty to B not to procure C to break his contract, to B's damage.

経済科第一年級

簿記（鹿野講師出題）

- 1 左ノ取引ニ於ケル甲乙丙三人ノ帳簿ノ仕訳ヲ示セ

甲ハニく金參千円ノ商品ヲ完渡シ其代金トシテニ振出丙宛  
甲受取額面金三千円ノ為替手形ヲ乙丙リ甲ハ受取り甲ハ丙  
ニ其手形ヲ呈示シ支払ノ引受ヲナサシメ其手形ノ満期日三  
至リ甲ハ丙ヨリ手形代金トシテ現金二千円ヲ受取タリ

- 11 取引ノ例ヲ設ケ組合商品ニ於ケル分担式記入ノ方法ヲ示セ  
111 勘定科目ヲ類別シ各類別ニ付五箇以上ノ勘定科目ヲ列挙セ

四 商品勘定ヲ説明セ

統計学（三浦講師出題）

- 1 大量観察法ヲ説明ス

11 都市ニ於ケル人口組織及ビ其移動ノ状態ヲ説明ス

ハーバード経済学（三浦講師出題）

1. The loan of diminishing utility applies to money as to goods, although the rate of diminishing utility is much slower,

because money represents general purchasing power and permits variety in consumption, as we all know from experience, satiety is reached more slowly than without it. Nevertheless, at any given time the hundredth dollar of one's stock has a lower utility than the ninety-ninth or any other preceding one.

Thus it follows that to a rich man, other things being equal, money has a less marginal utility than to a poor man.

以上の文章ヲ翻訳ス

2. 企業ノ種類ヲ擧ケテ之ノ説明シ併セテ其得失ニ及ブハ

憲法

経済学

民法總論

物件法第一部

右四科目法律第一年級ノモノニ回シ

経済科第二年級

貨幣論（阿部講師出題）

- 1 造幣権ノ何タルヤ説明シ之カ政府独占ノ利益ヲ擧ケ

- 11 単本位制ト複本位制トノ得失ヲ比較論評セ

交通政策（関講師出題）

- 1 運送ノ強度ト運送費トノ関係ヲ論ス

- 11 十九世紀交通ノ発達ノ特色ヲ概述ス

農業政策（柳田講師出題）

- 1 村落一団ノ大小カ農業労力ノ効果ノ上ニ及ス影響ハ何カ

11 米大麦大豆ノ市価ノ高低ハ相互間ニ何等ノ関係ナキモノカ

- 11 人口ノ增加カ農業ノ上ニ及スベキ効果ニアリ何カ

四 教育ハ如何ナル意味ニ於テ農業ノ労力ニ影響ヲ及スベキカ  
ダーバー氏銀行論（中島講師出題）

- Define "loan" and "Discount"
- It is said that issue of notes is bank's liability distinguishable

from deposit in form, but both are same in substance Give reason why.

III 職工組合ノ性質奈何々

3. What is reserve? What is supplies?

4. Describe the check System.

5. What advantage clearing house system do afford? Give illustration and reason why.

鐵道 (関講師出題)

- 一 軽便鉄道ノ特質ヲ述べテ
- 二 鉄道業務組織ノ大要ヲ述べテ

國際公法

商法総論

商行為論

会社法

手形法

債権各論

物權法第一部分

右七科目法律第一年級ノモノニ同シ

経済科第二年級

植民政策 (河津講師出題)

- 一 植民ノ動機ヲ論スくシ
- 二 植民地ノ金融機関ヲ論スくシ

社会政策及工業政策 (桑田講師出題)

- 一 社会主義、社会改良主義、社会政策、国家社会主義ノ意義  
ヲ説明スくシ

II 信用組合ノ性質奈何々

III 職工組合ノ性質奈何々

商業政策 (堀講師出題)

1 「ダムペング」 (Damping) トハ何ソヤ

2 差別關稅ノ種類ヲ列挙シ極簡單ナル説明ヲ与く

銀行論 (内藤講師出題)

- 一 小切手ノ銀行ニ対スル効用ヲ述べヨ
- 二 債券ノ発行ト預金ノ收受トハ如何ナル銀行ニ適スルヤ
- 三 貸付ト手形割引トノ優劣ヲ論評セヨ
- 四 独逸ノ証券銀行ノ特色ヲ略述セヨ

行政法

保険法

海商法

財政学

國際私法

右五科目法律科第三年級ノモノニ同シ

商科第一年級

商品学 (星野講師出題)

1 石油ノ製法

2 羊毛ノ性質及品位ニ就キ説明セヨ

3 花蓮ノ品位並ニ其用途ニ就キ説述スヘシ

民法要論 (伊藤講師出題)

- 1 如何ナル場合ニ於テ失踪宣告ヲ請求シ得ル力
- 2 複代理トハ如何其性質ニ付概要ヲ説明スヘシ

## 商業実務 (石川講師出題)

1 左ノ文字ニ記字ヲ付シ併セテ意義ヲ略述スルハ

- a. F, O, B,

- b. Entrepott

- c. Standard

11 左ノ意義ヲ有スル文字ヲ問フ

- a. 他ノ株主ニ遡先シテ或限度迄利益配当ヲ受クル権利

アタル株券

- b. 被雇人ノ惡行ニ因リ雇主ノ被ル損失ヲ賠償スル保険

商業算術 (西郷講師出題)

1 次ノ勘定ノ支払平均期日ヲ求ム

甲商店

	商品	￥	3,000.00	44/2/25	現金	￥	2,000.00
3/17	"	"	256.57	3/31	"	"	1,000.00
4/5	"	"	1,325.60	4/25	"	"	1,325.60
5/20	"	"	2,586.25	5/30	"	"	1,000.00
6/3	"	"	783.50				

- 二 遅年利ノ約束ヲ以テ￥1,250,000 ヲ年利 6 %ニテ 3 年 3 月  
間借入レタル時期末ニ於ケル皆済金如何但シ利息証書ハ毎  
半期ニ交付スルモノトス

三 期間ノ算法ニ就テ知ル所ヲ記セ

工業用語 (松浦講師出題)

1 動力ノ根元ニハ如何

1 東京市内ノ交通機関ニ就キ技術的ノ批評ヲセム

11 自動車運輸会社ニテ一台金額万円ニテ購入シタル自動車ア

リ今五年間使用ノ後尚11千円ノ価格アルモノトセハ毎年ノ  
償却積立金ヲ幾何田ニスベキヤ

但シ預金利率年五分

四 前記ノ問題ニ於テ使用十ヶ年後ニハ自動車無価格ナルモ  
ノトセハ償却積立金如何

五 MECHANICAL ENGINEERING, ELECTRICAL ENGINEER-  
ING,  
HYDRAULIC ENGINEERING, SANITARY ENGINEERING

ノ区分如何

売買取引 (佐野講師出題)

1 徳川幕府時代ニ於ケル米相場取引ノ仕方ヲ略述ハ田シナラ  
批語ヤミ

商業実務 (石川講師出題)

I Mention terms having the following meanings: —

- a. A document signed by the captain or agent of a steamer acknowledging to have received on board certain specified goods and undertaking to deliver the same on certain conditions at the stipulated place to the person named or "to order."

- b. Goods stored in an approved warehouse, the occupier or owner of which has given a pond to the customs authorities, undertaking that the goods shall not be removed from the warehouse for the purpose of home consumption until customs or excise duties have been paid.

## II Explain the following abbreviations<sup>(1)</sup>

(a) A. S. (b) E&ccE (c) F. P. A.

英作文 (石川講師出題)

I Write three sentences using the following phrases;

- (a) to put up with.
- (b) to do the needful.
- (c) her appoint.

II Translate the following sentences:

(a) 貴命（）従（）愛石丸積玄米（）単獨海損担保（）の条件（）ト帝国

海上保險（）保険料（）付（）金八十五錢（）ノ割（）ア以（）

金六十円（）ノ海上保險（）ヲ契約仕候

(b) 手（）御預（）致候大坂大田東助殿振出東京中野市太郎宛

八月二日付期限由付後（）一十五日金額七百円（）ノ手形代金

取立済（）ト相成候（）付御勘定（）ノ貸方（）記入致シ置キ候

英文和訳 (北川講師出題)

1. It is not too much to say that one man is twenty cannot tell where his stomach is situated, and certainly cannot describe its function.

右二科由經濟科一年級二回八  
商科第二年級

簿記 (鹿野講師出題)

銀行簿記（）於テ總由四日取引商一切（）レ記入總勘定元帳

金銀勘定（）記入スルモノ理由（）説明セラ

1. 某銀行（）於ケル左ノ取引（）対シ由記帳（）記入ヲ示セ  
甲、池上太郎ノ依頼（）シ由甲地（）支店（）有ス（）ベキ荷

pretty certain to meet but few that are worth knowing.

和文英訳 (北川講師出題)

1. 由事務所へ往テ山田君（）來テ居ルカ見テ來ナケレ

11 今日ハ終由書籍攜（）籠リテ手紙ヲカキ夜ハ公園内ヲ散歩シ  
タリ

11 11十1日正午横浜入港ノ日光丸（）は舞踊ノ上手ナ鑑観トハシ  
一ノ一カト携（）テ来タ

英語 (長谷川講師出題)

Thrift is classed as a social virtue, because in a thrifty society few people fall upon sickness for their support. The thrifty man looks his own independence during sickness, and to that of his wife and children after his death, so that he is near burdensome either to public or private society.

A further examination of the conduct of thrifty people leads to the conclusion that thrift may be either self-damning or denying to other people.

經濟學

簿記

右二科由經濟科一年級二回八  
商科第二年級

簿記 (鹿野講師出題)

銀行簿記（）於テ總由四日取引商一切（）レ記入總勘定元帳

金銀勘定（）記入スルモノ理由（）説明セラ

1. 某銀行（）於ケル左ノ取引（）対シ由記帳（）記入ヲ示セ  
甲、池上太郎ノ依頼（）シ由甲地（）支店（）有ス（）ベキ荷

為替ヲ取組ム取引番号甲第壹号貨物日本丸積肥料價格四万  
円保険金額四万円手形由附六月十五日期由同月二十九日手

- 形額面金參万円番号第一号荷受人木村半助割引料壹錢七厘手數料四錢ノ割ニテ引去リ同人手取金ノ内金四千円ハ同人宛預金手形トナシ残額ハ現金ニテ支払フ
- 乙、中村三郎ノ依頼ニ応シ甲地（甲地ニ支店ヲ有ス）ヘ送金為替ヲ取組ム受取人木村一郎番号甲第四号金額五千円手數料四錢共ニ現金ニテ受取ル
- 丙、甲地支店ヨリ六月十二日堀尾茂助振出当所宛保証小切手（堀尾茂助ノ当座預金ニ対シ保証セルモノ）第壹号金額參千円支払済ノ旨報告ヲ受ク
- 鉄道（大久保講師出題）
- 一 タイヤー氏「ダブルセット、システム」<sup>(ア)</sup>を詳説セヨ
  - 二 客車ノ特別貸切及普通貸切ヲ説明セヨ
- 商業地理
- 一 朝鮮ノ商業ニ就テ述ベヨ
  - 二 清国揚子江地方ノ状況ヲ問フ
  - 三 日本ヨリ北米合衆国ニ至ルニハ如何ナル航路アリヤ
  - 四 日本ト南米トノ貿易ハ如何ナル有様ナルヤ
- 工業通論（関講師出題）
- 一 機械発達ノ影響ヲ概述スベシ
  - 二 工業ノ地方的集中ヲ生スル原因及其利益ヲ述フベシ
  - 三 特許制度ノ必要ヲ述フベシ
- 商事経営論（上田講師出題）
- 一 家内工業制ト工場制トノ優劣ヲ問フ
  - 二 販売「カルテル」ノ組織ヲ説明スベシ

三 株式社債等「アンダーライチング」トハ如何ナルコトカ  
英作文（石川講師出題）

I 左ノ意味ノ電信文ヲ英文ニテ作ルベシ

a 只今銀座ヨリ失火北風強ク当社亦危シ危險迫ラハ芝浜倉庫ヘ避難スル計画ナリ

b 御注文ノ印度綿花目下品切ナリ三日内ニハ入荷アルベシ直段四十一円内外ノ見込ナリ

II 左ノ文ヲ英訳セヨ

c 購買力ノ無限ナル信越地方ノ情勢ヲ知ラント欲セハ宜シ

ク長野新聞ヲ読メ長野新聞ハ信越地方ニ於ケル新聞紙ノ雄ニシテ廣告ノ効力亦隨テ偉大ナリ

d 市況ハ続テ不人氣ニテ直段モ漸次下向ナリシモ印度地方ノ収穫不作ナリトノ入電アリシヨリ売人ハ容易ニ手放サス且ト一目眼合ヒノ姿ナリ

貨幣論（中島講師出題）

1. Mention requisite qualities of the material of money.
2. Is common measure of value one of essential functions of money?

money?

3. What is meant by "currency by weight"?
4. Define Composite Legal Tender.
5. Discuss defects of Bi-metalism (double standard)?

英文和訳及英和文訳（石川講師出題）

1. Many politicians of our time are in the habit of laying it down as a self-evident proposition that no people ought to be free till

they are fit to use their freedom. The maxim is worthy of the fool in the old story, who resolved not to go into the water till he had learnt to swim? If men are to wait for liberty till they become wise and good in slavery, they may indeed wait forever.

2. As an inevitable consequence of the law that needs are increased by their satisfaction, the more goods a man has, the more he wants. The more assured he is of the morrow, the more exclusively does he concern himself with how he shall live and provide for his children and his children's children.

3. 先日三井線電車ノ中ト混血児ノ朝鮮人カ乗合セト既ト本中ノノ歐系人カ見テ巧マナ日本語テ「彼レハ混血児タ其証拠」ハ田ノ色ヲ見給ク」ト側ノ日本人ニ語シテ既マシタ私ハ上駆カラ代々木ヘ行ク所シシタ  
就職依頼ノ手紙(但シ五十體以内)

商業政策

銀行論

右經濟科第三年級ノヤハリ画々